

平成30年度 推薦入試試験問題(文学科 英語英文学専攻) 解答例

問1 (50点)

【採点のポイント】

- ・ 本文で述べられている多読についての3つの原則を挙げているか。
- ・ 本文で述べられている多読について筆者の考えを的確に捉えているか。
- ・ 高校で習得する程度の語い力、および日本語表現能力があるか。
- ・ 360～400字で書いているか。

【解答例】

古川氏が言う多読の3つの原則とは、辞書を引くことなしに楽しめる本を選ぶこと、わからない語句は読み飛ばすこと、そして、興味のある本を読むことである。知らない語の数が全体の5%以下ならば辞書を使わなくても楽しく読める。わからない語句があれば、意味を文脈から推測すればいい。多読では、70～80%の理解で十分であり、何度も同じ語句が出てくると、その意味を自然に学習できる。また、英文が簡単であればあるほど、基礎的な英語力を向上させることができる。だが、たとえ興味のある本であっても、50%程度しかわからなければ、基礎的な英語力は身につけられない。そして、読む本が好きでなければ、退屈し途中で諦めてしまう。つまらない本を読むことは、苦痛で時間の無駄である。従って、ペンギン・リーダーズのように様々なレベルとジャンルを扱う本の中から興味のあるものを多読すべきである。

(388字)

問2 (50点)

【採点のポイント】

- ・ 自分の考えを具体的に述べているか。
- ・ 文章を論理的に構成しているか。
- ・ 高校で習得する程度の語い力、および日本語表現能力があるか。
- ・ 360～400字で書いているか。

【解答例】

英語を「読む」力を向上させるために、私が挙げたい学習法は、自分にとって少しだけレベルの高い英語長文を一語一語丁寧に訳しながら読んでいくことである。「少しだけレベルが高い」と言ったのは、読解している時、知らない単語や熟語が全くない英文だと語い

力を高めることができないし、知らない言葉ばかりだと、訳していて嫌気がさしてくるためである。現在の英語力より少し背伸びをしたレベルの英語長文を選び、それを訳読しながら構文や語いを学んでいくことが「読む」力を高めるために効果的であると考えます。

私は高校1年生からこの勉強法を実践してきたが、内容が深くなるほど、英語を適切な日本語に訳す難しさを感じた。英語を「読む」力を向上させるためには、日本語力も同等に必要だと実感している。これからは、国語の学習にも力を入れ、英語と日本語双方の運用能力を高めることで、英語の読解力を強化していきたい。(385字)